



英検対策の文法講義をする住職

冠省 今年も残り僅かとなりました。このよう
な情勢で歳を跨ぐのは、不安に覆われ晴れやか
な気が致しません。今年も多くのお見送りに携
わって頂きましたが、その中には余命少ない時
を面会する思うように出来なかつたという話も
耳にしています。ご遺族にとつても故人にとつ
てもこの現実の不憫でなりません。ある意味で
は大切な人と当たり前に過ごせる時間がいかに
尊いかということを思い知らされた年でもあり
ました。改めてこの一年私達はどうか生きたの
を、年の瀬に思慮を深めておきたいものです。
思えば私達が生きていく上でのあらゆる「目
的」とその「手段」というものは、何かにつけ
て錯覚しやすいものです。その最たる例がお金
です。お金はあくまでも人生を豊かにする為の
「手段」であり、「目的」ではない。このロジ
ックはわかるのですが、実際には所有する貨幣

寺報

令和二年 冬

の数値を高めることを生き甲斐にしてる人もい
るわけであり、この場合お金は手段ではなく目的
です。お金という魔物に取り憑かれた結果、自分を
見失ってしまったわけです。というところとほとんどの
方は、そういう人は確かにいるけど、私はそうで
はないと思うのですが、実はこれはそんなに単純
な話ではありません。お金を目的としている人と
そうでない人の二種類の人間がいるのではなく、
そうではない人にも時折そういう部分があるとい
うことです。要は手段と目的というものは放つてお
くと無意識に差し変わってしまうほど曖昧で不安
定なものだということです。実際私の目には今の
世の中は、「人は病気になるために生きてい
る」ようにも映ります。「病気になる」とい
うのが生きる目的であるとするれば、当然違和感
があり、本来ならばそれは手段に位置付けられるべ
きです。理屈ではそうなのですが、連日朝から晩
まで感染者数の報道を叩き込まれ、生活全てを覆
い尽くす状況になれば、誰でもこの両者を錯覚し
てしまうことは起こり得ます。生きる目的という
ものを断定するのは容易ではないので、ここでそ
の議論は割愛しますが、少なくとも私達は病気に
ならないために生きていくわけではありませ
ん。一年を振り返れば、なんとなくこの手段と目的
を見誤ってしまった部分は否めないのではな
いでしょうか。だとすれば私達は何かを臨む時、この
手段と目的の両者は取り違え易いということ
でやっつけにしておく必要があります。このスタンス
でやっつけにしておく必要があり、今回はそうではな
かった

のです。そうするとこの手段と目的を天秤にか
け、両者の概念を突き詰めたくなるのですが、
目線はそこではありませぬ。なぜならこの問題
は、手段と目的を区別することではなく、それ
を抱えている本体の方に帰属するからです。つ
まり自己存在そのものが、極めて不安定で不確
実なものであり、周囲に影響され翻弄され、時
々刻々と移りゆく前提で成り立っているという
ことなのです。こういった世界観を伝教では「諸法
無我（じよほうむが）」と言います。難しい言
葉はさておき、要は存在定義が曖昧で断定出来
ないものに、正解の枠をキツチリ当てはめよう
とする行為はナンセンスで、手段と目的を間違
わないことよりも、それを知った上で間違えて
もその度に修正することの方が大事なのだと思
います。余談ですが、奇しくも私達は不安定な
自己を固定化させたがり、不確実な自己を明確
化させたがりてしまいがち、それが時として自己
を精神的に追い込んでしまふこともありませぬ。
話を戻すと、手段と目的は絶対に間違えては
いけないものでありませぬ。お金を生かす目
的だと履き違えた人でも、それに気付くこと
は多々あります。月並みですが、人生はトライ
&エラーでやっていくしかありません。まして
や今直面しているものは、未曾有の事態なわけ
です。人間で、自己のあり方を間違えて当然、政治
家も人間です。人間を許さず、間違えた人間は正
解を求めて間違いを許さず、間違えた人間は吊
り上げる世の中は、自分で自分の首を絞めてい
ることになりませぬ。
一つの例を出して、「生きる」ということを考
えてみたいのですが、「コロナだから人に会わ
ない方がいい、外に出ない方がいい、家から一
歩も出なければ安心で安全。」「愚痴や批評を
言いなからこう一、二年そうやって過ごして
人生の幕を下ろした人がいたとします。その人
はこの二年を胸を張って生きたと言え、その人
はか。生きていく人も生かれない人、障害を抱え
て苦しんでいく人もいる中、五体満足の人達に
対して、「生きる」ということは心臓さえ動い
ていれば、それでよいのでしょうか？



住職がデザインしたお寺の4つ折りパンフレット (上) 外面【表紙側】 (下) 内面【中身側】

いうスタイルがこのお寺の持ち味であり、泥臭く
やっつけ方が私の性分にもあっています。もち
ろまプロがデザインしたものに比べれば見劣り
しますが、コスト面への配慮と習慣を継続して
く意味において価値があると思います。納骨堂
の案内も併用したため限られたスペースでお寺の
紹介部分をデザインしましたが、ご本尊や内観、
他にはない圧倒的な量のコンテンツを記載し、伝
えるべき部分は凡カバリー出来た形にはなりま
した。コンセプトとしては、お寺らしからぬテイ
トでありつつも、ポップになり過ぎないギリギリ
のラインを狙いたいところですが、大体私のパ
ターンからすると、予想以上にポップ過ぎてしま
う結果に終わります。(笑) こういう作業は始
まるまで非常に腰が重く感じますが、いざスタ
ートしてみると、波に乗って楽しく出来てしま
うもので、実際今回もそうでした。頭で構想して
いることで、未だ出来ていないことも恐らく同じ
ことなのでしょうが、それがわかっていて中々手
付けられないというのは、人間力の欠如の他な
りません。(笑) そしてこの寺報の発送も随分遅
れてしまいました。このパンフレットは参考まで
に同封させて頂きます。また記載の紹介動画も是非
QRコードからご覧になって見てください。

お寺の伝言板

● 感染防止対策について
お寺にお参りの際は、入口に除菌スプレーを
用意していただきますので、ご利用下さい。また密
にならないよう他の参拝者の方との距離を保
つようご協力お願い致します。

● 納骨堂管理費について
令和二年度の納骨堂の管理費が未納の方は
本年十一月末までにお納め下さい。ご希望の
方は、令和三年度分も納入頂けます。

● 年末年始について
年末年始は通常通りお寺に入ることが出来
ます。お気軽にお参り下さい。

▲ 寺子屋イングリッシュ生徒募集 ▼
お寺の英会話寺子屋イングリッシュ
新学期スタートに際して生徒募集！
※お寺でのレッスンは、月・火・木・金です。

・キッズレッスン
・大人レッスン
・フリーレッスン

詳しくは
↓こちら

▲ 元朝法要 ▼
● 十一月三十一日 0時より
※元日0時

▲ 春彼岸法要 ▼
● 三月二十日 15時より

本堂でお勤めと法話があります。
ご詠歌の奉詠もありません。
十分に距離をとってお勤め致します。

お陰様で子供達は元気です！

長女と次女は歌を習い始め、三女はドラムを始めました。いつかガールズバンドも結成できるかもしれ
ません。四女は姉妹で一番最初に鉄棒の逆上がりが出来ようになり、驚いています。次女三女は七五
三を迎え、着物姿で写真を撮りました。相変わらず賑やかなわが家ですが、是非遊びに来て下さい。